令和 7 年度共同運航実習船「翔洋丸」第 1 次遠洋航海実習（R7.9.16～24）

9月17日から操業実習が開始されました。生徒は投縄班、揚縄班に分かれてそれぞれ実習を行います。投縄は朝 8 時から開始され、2 時間かけて 1120 本の釣針が付いた縄をいれていきます。生徒は釣針に付ける二種類の餌を運んだり、漁具（浮玉）をセットし、コンベアを動かしたりと、忙しく動きます。それから、14 時より揚縄を行います。ここで生徒が行う実習は、乗組員が回収した浮玉についているロープを束ねて片付けをしたり、揚がった魚の体長測定、記録を取ったりします。この期間、操業に関する実習だけではなく学校課題や資格取得のための学習、航海・機関当直、海洋観測、食当などの実習も行っています。生徒は日々成長をしています。

投縄実習

投縄実習

揚縄実習

揚縄実習

揚縄実習

揚縄実習